

日本の脳神経外科医療の可視化に関する研究・全数調査に関する研究

1. 研究の対象

平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月までの当院脳神経外科へ入院した方

2. 研究目的・方法

近年、Big data の活用が注目されつつあるが、医療分野でも全国規模のレセプトデータや DPC データの活用の取り組みが始まりつつある。脳神経外科領域においても Big data を活用し、技術の普遍化と普及への取り組みとして、脳神経外科治療が国民の安心にいかにか大きな貢献をしてきているか情報発信する必要がある。

そこで、平成 26 年 5 月に開催される日本脳神経外科コンgres 総会において、脳神経外科の可視化をテーマに、診療技術の他に、診療プロセスや診療アウトカムの可視化を行う方針が日本脳神経外科学会ならびに日本脳神経外科コンgres で決定され、第 34 回日本脳新家外科コンgres 総会会長九州大学脳神経外科飯原弘二教授が研究代表者となり、本研究を実施することとなった。

そのために、全国の脳神経外科研修プログラム参加施設の協力で、DPC データを利用して脳神経外科に係わる手術等について悉皆性を持った全数調査を実施することになり、今回、当院脳神経外科も全数調査に協力し、脳神経外科症例のデータを登録する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：入院患者の病名、入院期間、手術名等の情報を登録します。

試料：使用しません。

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究を実施する全ての共同研究機関

J-ASPECT Study (研究代表者 九州大学大学院医学研究院 脳神経外科教授 飯原弘二) のホームページ <https://j-aspect.jp/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科：飯原 弘二
〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 TEL (092) 642-5524

研究責任者：

東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科 菅 貞郎

研究代表者：

九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科：飯原 弘二